

災害ロジステック研修

チーム にしがま線応援団の軌跡



リーダー	北川	航平
サブリーダー	鶴本	一成
クロノロ①	富山	恵美
クロノロ②	藤丸	美優
	中武	亨仁
	永谷	順次
	須永	吉徳

8:00 岩手大学 出発 大船渡医療圏へ

ルート 4号線南下→高速使用

283号線通行止めの為→107号線で南下
大船渡市内通行止め箇所迂回

大船渡保健所着 チームGと大船渡同時着

チームG : 保健所統括

にしがま線応援隊 : 県立大船渡病院へ医療支援



にしがま線応援団 県立大船渡病院 着 13:40

カウンターパートナー 事務次長寺澤さん 外科部長金子医師

病院状況 施設倒壊なし、損傷なし

ライフライン 電気 自家発 2日

水 貯水タンク 2日


酸素 ボンベ対応 1日

入院患者 (200名)

HD患者 転院手続き 済み (緊急HD対応不可)

活動場所 3階 会議室を提供され本部とする





支援 ニーズ確認

外部との連絡を取りたい！！が

①衛星電話は通じたが、情報回線/データー通信が・・・

PC設定環境が整わず、データー通信開通ができない・・・

②外科部長金子医師より、高田病院の確認してほしい！

高田病院へ出発！！



にしがま線応援団（ 県立大船渡病院 ）

高田病院へ 現状確認の為4名 チーム H2 出発！！

大船渡保健所→ チームH2へ連絡！！

チームH2

高田病院→希望が丘HPへ転進！！

そのころ県立大船渡病院では . . .

え～！



混乱！！

情報の錯綜！！

チームH2はどこ！！



大船渡保健所

情報
希望ヶ丘HPへ



通信困難！！

高田病院
チームH2



大船渡HP
チームH1

通信困難！！



まとめ

衛星電話設置習熟と輻輳！？

複数の情報選択肢の準備が必要！！

チームビルディングの見直し

実動チーム員の配置数

(本部 3名 実働 4名で活動)

ご清聴ありがとうございました

